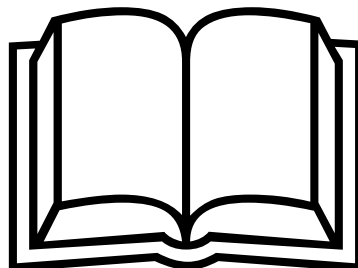
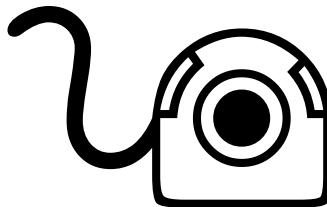
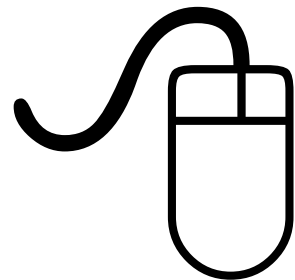
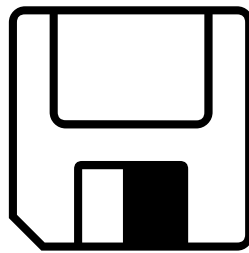
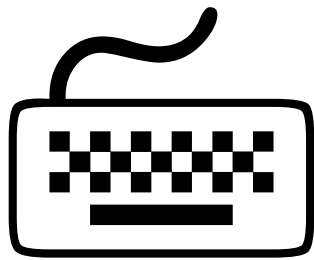


BCP 発行ツール

インストールマニュアル



東芝テック株式会社

はじめに

この度は東芝テック BCP 発行ツールをお求めいただき、誠にありがとうございます。
本システムは、弊社 Windows NT 版 BCP プリントシステム V2 で作成したラベルフォーマットを用いて、お客様がバーコードプリンタのコマンドを意識することなくラベル発行プログラムを作成する機能を提供します。
このマニュアルでは、本システムのインストール手順、及び注意事項などについて記載しています。

ご注意

1. 本システムの OS を除くソフトウェアの著作権は、東芝テック(株)にあります。
2. ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、転載することは禁止されています。
3. マニュアルに記載されている会社名、製品名等は各社の商標または登録商標です。
4. マニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
5. マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、営業または代理店までご連絡ください。
6. 運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

必要なソフトウェア及びハードウェア

基本ソフトウェア：

Windows NT4.0 Workstation (Service Pack 5 以上) , Windows 2000 Professional
(いずれも日本語対応版)

開発ソフトウェア：

VisualBasic 5.0 または 6.0
(いずれも日本語対応版)

ハードウェア：

上記ソフトウェアが正常に動作するパーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機)

*ラベルフォーマットを作成するために弊社 Windows NT 版 BCP プリントシステム V2 (B002.006 以降) が必要となります。

目 次

| | | |
|-------|---------------------------------|----|
| 第 1 章 | BCP 発行ツールの導入 | 1 |
| 1. | BCP 発行ツール本体のインストール | 2 |
| 2. | OCX のレジストリへの登録 | 3 |
| 3. | プロジェクトへの組み込み | 4 |
| 第 2 章 | サンプルについて | 6 |
| 1. | サンプルデータ及びサンプルプログラムのインストール | 7 |
| 2. | サンプルプログラムの概要 | 8 |
| 第 3 章 | 注意事項 | 11 |
| 1. | プリントシステムとの互換性 | 12 |
| 2. | 注意事項 | 13 |

第 1 章 BCP 発行ツールの導入

この章では BCP 発行ツールのインストールから、開発環境に組み込むまでの手順について説明します。

1. BCP 発行ツール本体のインストール

- (1) BcpCtrl10.exe をダブルクリックします。

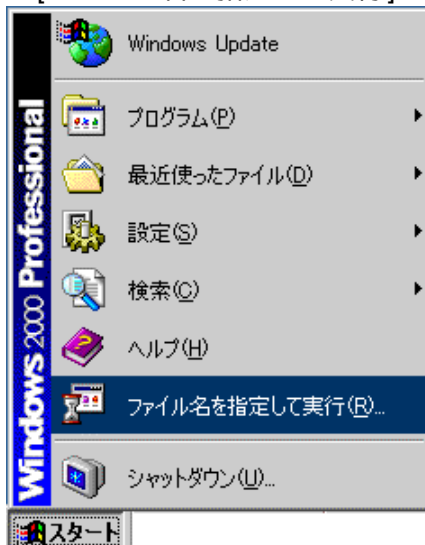


- (2) [C:\BcpCtrl]と表示されていることを確認し、[解凍] ボタンをクリックします。
- (3) C:\BcpCtrl フォルダが作成され、以下のファイルが解凍されます。

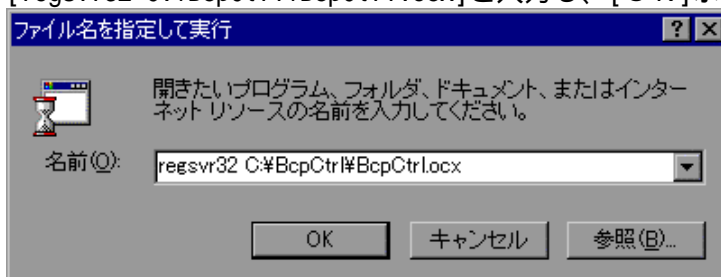
| | |
|--------------|------------------------|
| BcpCtrl.ocx | : BCP 発行ツール本体 |
| BcpCtrl.lic | : ライセンスファイル |
| Prt374.ini | : B-374 用プリンタ情報ファイル |
| Prt474.ini | : B-474 用プリンタ情報ファイル |
| Prt874.ini | : B-874 用プリンタ情報ファイル |
| Prt433gs.ini | : B-433-GS 用プリンタ情報ファイル |
| Prt433ts.ini | : B-433-TS 用プリンタ情報ファイル |
| Prt458.ini | : B-458-TS 用プリンタ情報ファイル |
| Prt484.ini | : B-484 用プリンタ情報ファイル |
| Prt858.ini | : B-858 用プリンタ情報ファイル |
| PrtList.ini | : プリンタリストファイル |

2. OCX のレジストリへの登録

- (1) デスクトップ左下の[スタート]ボタンの[ファイル名を指定して実行(R)...]をクリックすると[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスが表示されます。



- (2) [regsvr32 C:\%BcpCtrl%\BcpCtrl.ocx]と入力し、[O K]ボタンをクリックします。



- (3) レジストリに OCX が登録されます。



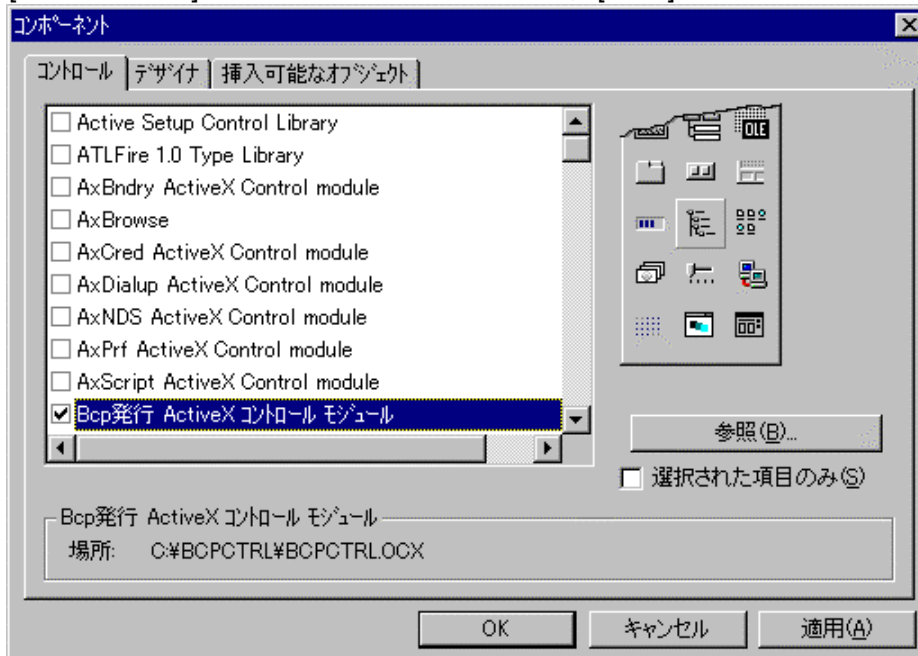
3. プロジェクトへの組み込み

コントロールをプロジェクトに組み込む手順を Visual Basic 6.0 の場合を例にあげて説明します。

- (1) [プロジェクト(P)]メニューから[コンポーネント(O)]を選択します。



- (2) [コントロール]タブから次の項目を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



(Bcp 発行 ActiveX コントロールモジュール)

- (3) ツールボックスに BcpCtrl のアイコンが表示されます。



BcpCtrl

第 2 章 サンプルについて

この章ではサンプルのインストール方法と、サンプルプログラムの概要について説明します。
サンプルが必要ない場合は次の章にお進みください。

1. サンプルデータ及びサンプルプログラムのインストール

- (1) BcpSamp.exe をダブルクリックします。



- (2) [C:\BcpCtrl\Sample]と表示されていることを確認し、[解凍] ボタンをクリックします。
- (3) C:\BcpCtrl\Sample フォルダが作成され、以下のファイルが解凍されます。

[Data フォルダ]

サンプルプログラムで使用するデータファイル

| | |
|--------------|---------------------------|
| Sample.dat | : サンプルデータファイル (CSV 形式) |
| Smp374.lfm | : B-374 用サンプルラベルフォーマット |
| Smp474.lfm | : B-474 用サンプルラベルフォーマット |
| Smp874.lfm | : B-874 用サンプルラベルフォーマット |
| Smp433gs.lfm | : B-433-GS 用サンプルラベルフォーマット |
| Smp433ts.lfm | : B-433-TS 用サンプルラベルフォーマット |
| Smp458.lfm | : B-458-TS 用サンプルラベルフォーマット |
| Smp484.lfm | : B-484 用サンプルラベルフォーマット |
| Smp858.lfm | : B-858 用サンプルラベルフォーマット |

[Issue フォルダ]

通信設定を COM (発行完了復帰) にした場合のサンプルプログラム

| | |
|-----------|-----------------------|
| Issue.exe | : 実行ファイル |
| Main.frm | : Visual Basic フォーム |
| Issue.frm | : Visual Basic フォーム |
| Issue.vbp | : Visual Basic プロジェクト |

[Send フォルダ]

通信設定を COM (送信完了復帰) にした場合のサンプルプログラム

| | |
|----------|-----------------------|
| Send.exe | : 実行ファイル |
| Main.frm | : Visual Basic フォーム |
| Send.frm | : Visual Basic フォーム |
| Send.vbp | : Visual Basic プロジェクト |

[Driver フォルダ]

通信設定をドライバにした場合のサンプルプログラム

| | |
|------------|-----------------------|
| Driver.exe | : 実行ファイル |
| Main.frm | : Visual Basic フォーム |
| Driver.frm | : Visual Basic フォーム |
| Driver.vbp | : Visual Basic プロジェクト |

2. サンプルプログラムの概要

注意 サンプルプログラムは BCP 発行ツールが“ C:\BcpCtrl ” に、サンプルが“ C:\BcpCtrl\Sample ” にインストールされていることを前提に作成してあります。インストール先を変更した場合にはプログラムを修正した上で使用して下さい。

(1) COM (発行完了復帰) 用サンプルプログラム (Issue.exe)

発行完了復帰では、プリンタと同期を取りながら処理を行うことができます。また発行が完了 (プリンタから発行完了ステータスを受信) するまではユーザーに処理が戻りませんが、プリンタがエラーとなった場合はコントロールがエラーメッセージを表示します。そのため、プログラマーがプリンタエラーの処理を気にすることなく容易に開発することが可能です。



ラベルフォーマット一覧

UsePrinter プロパティと Issue メソッドの第一引数 (FilePathName) の変更を行います。

通信パラメータ

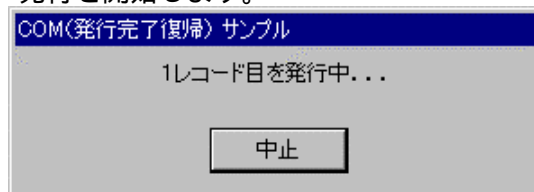
PortSetting プロパティの変更を行います。

終了

サンプルプログラムを終了します。

発行

発行を開始します。



ステータスを表示します。

中止

発行を中止します。

(2) COM (送信完了復帰) 用サンプルプログラム (Send.exe)

送信完了復帰では、コントロール内部の送信バッファにデータをセットした時点で処理をユーザーに戻します。プリンタからステータスが返されると OnStatus イベントが発生するのでエラー処理はここで行う必要があります。ただし、プリンタのエラーとプログラムの処理は同期していないので注意して下さい。



ラベルフォーマット一覧

UsePrinter プロパティと Issue メソッドの第一引数 (FilePathName) の変更を行います。

通信パラメータ

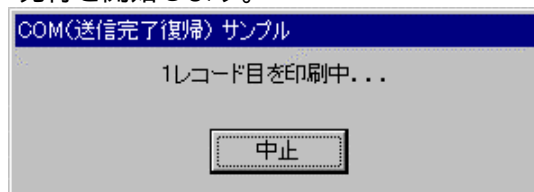
PortSetting プロパティの変更を行います。

終了

サンプルプログラムを終了します。

発行

発行を開始します。



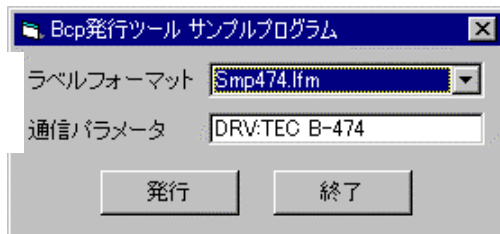
ステータスを表示します。

中止

発行を中止します。

(3) ドライバ用サンプルプログラム (Driver.exe)

プリンタドライバにデータを出力した時点で処理をユーザーに戻します。ただしエラーの取得ができないため OnStatus イベントは発生しません。従ってプリンタからのエラーの表示などを行うことはできません。



ラベルフォーマット一覧

UsePrinter プロパティと Issue メソッドの第一引数 (FilePathName) の変更を行います。

通信パラメータ

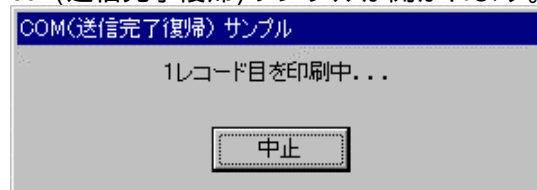
PortSetting プロパティの変更を行います。

終了

サンプルプログラムを終了します。

発行

COM(送信完了復帰)サンプルが開かれます。



ステータスを表示します。

中止

発行を中止します。

第 3 章 注意事項

この章では弊社プリントシステムとの互換性、及び使用する上での注意事項について記載しています。
ご使用になる前に必ずお読みください。

1. プリントシステムとの互換性

このコントロールは WindowsNT 版プリントシステム V2 (B002.006 ~ B002.008) で作成したラベルフォーマットファイル (*.lfm) を使用して発行を行ないます。ただし、一部機能に仕様の違い及び制限があります。

インクリメント / デクリメント (INC/DEC) の仕様

- データ内にアルファベットや記号が含まれていた場合、下の図に示すように INC/DEC はその桁を越えて行なわれます。また、データの桁数が 41 桁以上となるとそのオブジェクトが描画されなくなります。

| | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 初期値 | 00000 | 99997 | 00002 | A0A0A | 7A8/9 | A2A0A |
| ステップ数 | +1 | +1 | -1 | +1 | +3 | -3 |
| 1 枚目 | 00000 | 99997 | 00002 | A0A0A | 7A8/9 | A2A0A |
| 2 枚目 | 00001 | 99998 | 00001 | A0A1A | 7A9/2 | A1A7A |
| 3 枚目 | 00002 | 99999 | 00000 | A0A2A | 7A9/5 | A1A4A |
| 4 枚目 | 00003 | 00000 | 99999 | A0A3A | 7A9/8 | A1A1A |
| 5 枚目 | 00004 | 00001 | 99998 | A0A4A | 8A0/1 | A0A8A |

- INC/DEC は 32 オブジェクトに対する設定までしか有効となりません。それ以上の設定は無効となります。
- 文字・数値オブジェクトに対してチェックデジットが設定されている場合 INC/DEC の設定は無効となります。

複数枚取りの仕様

複数枚取りは行なえません。

2. 注意事項

COM における注意点

伝達制御方式として XON/OFF + READY/BUSY 方式を採用しています。
プリンタの制御方式を XON/OFF + READY/BUSY 方式（工場出荷時設定）に設定して下さい。

COM（発行完了復帰）における注意点

発行中に表示されるメッセージで[中止]を選択しても、プリンタのリスタートボタンを押すと発行が継続してしまうことがあります。これは既に送信したコマンドについては中止できないためです。プリンタからの発行も中止する場合は、プリンタの電源を一度 OFF/ON するなどして下さい。

COM（送信完了復帰）における注意点

- ・通信設定を COM（送信完了復帰）とした場合、プリンタの設定によっては発行 / フィード時に数回フィード成功ステータスがプリンタから送信されます。
OnStatus イベントでフィード成功ステータス进行处理する場合は注意してください。

ドライバにおける注意点

- ・ドライバによる発行の動作確認は当社製 TPCL プリンタドライバ バージョン 6.4 ビルド 37 に行なっています。
このバージョンのドライバには B-484 と B-858 のプリンタドライバが含まれていないので、B-474 のプリンタドライバを使用してください。
- ・関数を呼んで発行などを指示しても、すぐにプリンタが動作しないことがあります。これはある程度のコマンドがスプールされないとプリンタへの出力が行なわれないという OS の仕様によるものです。
このスプールされたコマンドは、通信ポートをクローズすると全てプリンタに出力されます。

B C P 発行ツール

インストールマニュアル

平成 13 年 4 月 16 日 初版発行

T A A - 1 3 4 2

発 行

東芝テック株式会社

流通情報システムカンパニー

〒103-8482

東京都中央区日本橋浜町 3 - 2 1 - 1

Copyright

All Rights Reserved

TOSHIBA TEC CORPORATION, 2001

無断複写及び、転載を禁ず

Printed in Japan